

男女共同参画チャレンジ支援セミナーは、第1回を6月24日、第2回を7月25日、第3回を9月20日に開催しました。毎回、募集人数を上回る申込みがあり、参加者の皆さんからも好評を得ることができました。

第1回「自己表現スキルアップ講座」～自分に似合うパーソナルカラーを探そう～

色彩の持つ心理的作用を活用した自己表現方法を身につけ、家庭や職場、地域社会等活躍の場で活かしていただくパーソナルカラー認定講師である吉田俊子さんから実技を交えたお話を伺いました。

前半はカラーの基礎知識や特性を学び、後半はグループに分かれて自分自身のパーソナルカラーを見つけました。

[参加者の声]

色で自分の気持ちや相手に与える印象が変わることや、自分の好きな色と似合う色が違うことを知りました。好きな色の使い方を学んだので、毎日の生活に取り入れたいと思います。



第2回「チャレンジ！ステップアップセミナー」～なりたい自分になるヒント～



再就職やキャリアアップをめざす方を対象に「小澤佳代子のキャリア相談室」を主宰する小澤佳代子さんからヒューマンスキルによる自己分析やキャリアプランの立て方等についてアドバイスしていただきました。

後半はグループに分かれ、参加者の皆さんによる活発な意見交換が行われました。

[参加者の声]

興味あることなら続けられるので、職務経歴書には自分がやりたこと、出来ることを書き、自分の思いを大切に仕事を選ぼうと思いました。小澤先生のチャレンジ精神やバイタリティ溢れたお話は面白く、たくさんの元気をいただきました。

第3回「チャレンジ！地域活動」～気持ちつながる・暮らし楽しむ・地域とつながる～

働き方を見直し、仕事以外の自分を手に入れるため、地域活動について学ぼうと「ひたちNPOセンターwith you」事務局長の田尻英美子さんをお招きし、お話を伺いました。

地域の課題や困りごとについて女性は敏感。しかし、女性の意見はなかなか出てこない。積極的に、思いを伝え、情報を発信することで地域とのつながりが生まれ、女性の目線が政治に反映されていく。今、女性の力が地域に活かせる時であること。地域の困りごとに着目した活動の展開や地域でねむっているものを実益あるものに転換する取り組み、NPOの活動内容等を話していただきました。

[参加者の声]

NPOの活動内容がわかり参考になりました。地域に役立てるよう何かにチャレンジしたいと思いました。

今までより更に頑張るネットワークを広げ、自分たちの思いを実現したいという気持ちを強くしました。



発行・お問合せ先

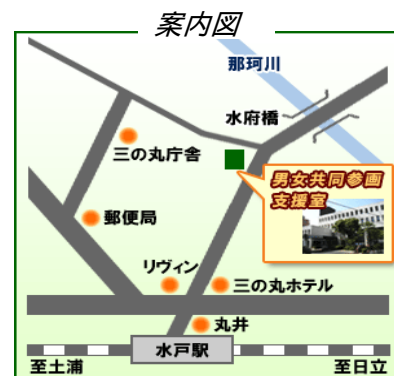
茨城県知事公室女性青少年課
女性プラザ男女共同参画支援室

〒310-0011 水戸市三の丸1-7-41

電話：029(233)3982

FAX：029(233)1330

URL：http://www.challenge.pref.ibaraki.jp/



・水戸駅から日立方面に向かって徒歩約10分
・車でお越しの方は三の丸庁舎(旧県庁舎)の駐車場をご利用ください

女性プラザ 男女共同参画支援室だより

女性プラザ男女共同参画支援室では、男女共同参画社会を推進するため、新しい可能性を切り開いていこうという人や頑張る社会に挑戦していこうとする人を応援します。各種相談やセミナー等の開催のほか、様々な情報や、団体・グループ等の交流の場を提供しております。今後、次のシンポジウム・セミナーを開催いたしますので、ふるってご参加ください。

男女共同参画チャレンジ支援シンポジウム2008

「未来を拓く生き方、働き方を考える」～ワーク・ライフ・バランス～

日時	平成20年10月5日(日) 13:00開会 (12:00開場)	内容	1 オープニング 古河和太鼓保存会による太鼓演奏
場所	とねみどり館 (古河市生涯学習センター総和) 古河市前林1953-1 電話:0280(92)4000	2 基調講演 講師 独立行政法人 労働政策研究・研修機構 総括研究員 奥津 真里さん	
主催	茨城県	3 パネルディスカッション ・コーディネーター 奥津 真里さん	
後援	古河市	・パネリスト 稲葉 稔子さん(総和地恵の和会会長)	
参加申込・お問い合わせ	茨城県県西地方総合事務所県民生活課まで 電話:0296-24-9082 FAX:0296-24-2357 E-mail seisokenmin@pref.ibaraki.lg.jp	市毛 誠さん(京三電機株式会社人事室長)	
		永塚 守さん(古河商工会議所青年部会長)	
		光畑 由佳さん(授乳服のモーハウス代表)	

チャレンジする女性たちの展示販売も行います

男女共同参画チャレンジ支援セミナー <第4回>

「女性のための創業支援セミナー(入門編)」

新たに事業を始めたいが、創業の動向や現状はどうか、創業に必要なものは何か。新規に開業したいが、開業にあたっての計画や手続きなどはどうすればいいの。そんな疑問に、それぞれの専門家がわかりやすくご説明します。創業をお考えの方や関心のある方は、ぜひご参加ください。

日時	平成20年11月29日(土)・12月6日(土)(2日間) 13:00~16:30
場所	女性プラザ男女共同参画支援室
対象者	創業に関心のある女性、創業して間もない女性(男性の方も可)
受講料	無料 募集人数 40名(先着順)
内容	・「茨城県の最近の創業動向 創業の動機と成功のポイント」及び「創業チャレンジ 相談会」 講師:ニューマネジメント研究所代表 伊藤 勝彦氏 ・「女性ならではの「起業・創業」」 講師:(株)フジ・アート代表取締役 藤原 美江氏 ・「創業体験談」 講師:「憧れ 花のアトリエ」池田 誠子氏 ・「開業資金計画の立て方と創業に係る融資制度のご案内」 講師:(株)日本政策金融公庫水戸支店 国民生活事業 融資第一課長 嶋根 吉彦氏

参加申込・お問い合わせ

女性プラザ男女共同参画支援室まで 電話:029-233-3982 FAX:029-233-1330

「女性のための創業支援セミナー(実践編)」を以下により開催する予定です。

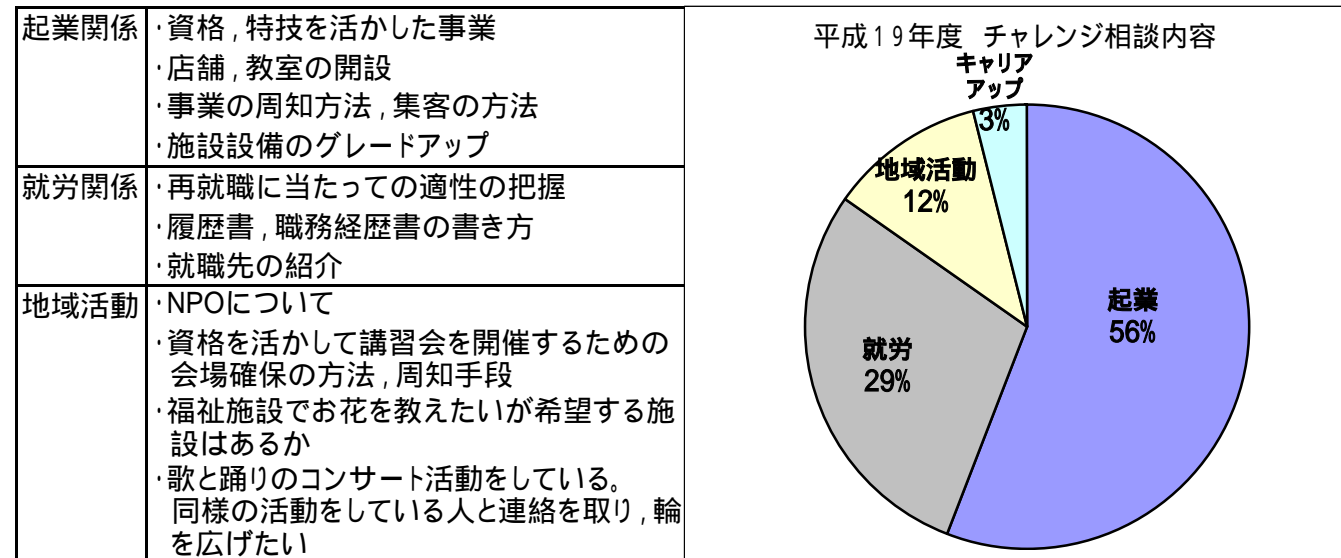
日時	平成21年1月31日(土)・2月7日(土)(2日間) 10:00~16:00
場所	筑波研修センター(予定)

*詳細が決まり次第、チラシ等でご案内いたします。



『何かにチャレンジしたい!』

女性プラザ男女共同参画支援室では、再就職や起業、キャリアアップ、地域活動など様々なことにチャレンジしたい方を応援するため、チャレンジ相談を行っています。
 平成19年度は52件(相談者数43名)の相談がありました。男女別には、女性からの相談が47件(90%)、男性からの相談が5件(10%)となっています。相談種別を見ると、新たに事業を始めたいなどの起業についてが29件(56%)と最も多く、次いで再就職など就労についてが15件(29%)、NPOやボランティアなど地域活動についてが6件(12%)の順になっています。主な相談内容は次のとおりです。

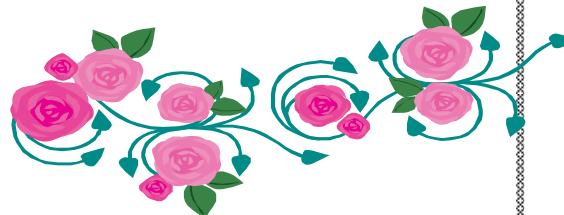


これらの相談には、相談員が対応するとともに、それぞれの分野の専門家であるアドバイザーに助言指導を依頼しました。また、相談の内容に応じて、より適切な助言が期待できる相談機関等を紹介しました。

チャレンジ相談窓口

TEL 029-233-3982 (サンキューハーモニー)

相談日時
月曜日～金曜日 9:00～17:00(祝祭日及び12月29日から翌年1月3日までを除きます)
 会場(面接相談の場合)
女性プラザ男女共同参画支援室
 面接方法 面接(要予約) 電話 FAX Eメール
 FAXまたはEメールによる相談をご希望の場合は、「チャレンジ相談票」に相談内容等をご記入の上、ご送付ください。「チャレンジ相談票」は「茨城県男女共同参画チャレンジ支援サイト」(<http://www.challenge.pref.ibaraki.jp/>)から入手できます。
 ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。
 相談料 無料
 お申込み・お問合せ先
 女性プラザ男女共同参画支援室
 〒310-0011 水戸市三の丸1-7-41
 TEL. 029-233-3982 FAX. 029-233-1330
 Eメール josei1@pref.ibaraki.lg.jp



あなたのチャレンジを応援しますー!

こんな相談がありました...

Q1
店を開業して2ヶ月。お客さんが少ない。できるだけお金をかけずに集客したいが、どうしたらよいか?

A1: 相談員による助言

- 看板の設置
- タウン誌などへ掲載依頼(無料も可)
- チラシを作成し各家庭へ配布
- インターネットの活用(ホームページの開設)
- 同業者への相談

Q2
ギャラリー・カフェの開業を考え、ある程度の起業プラン、建物概要図を作成した。アドバイスをお願いしたい

Q3
外国語の特技を活かして、講師として働きたい。どこに相談したらよいか?

A2: アドバイザーによる助言

- 起業プランについての助言
- 水の確保
- 太陽光(照明, エコ)の活用
- アンティークの利用によるアクセント
- 建物概要について
- 建物だけでなく、全体ゾーンの観点から専門家の意見も聞く
- 事業周知について
- ホームページの立ち上げ

A3: 相談員による助言

- ハローワークへの相談を助言
- 講師募集可能性のあるカルチャーセンターへの問い合わせや当該外国語に関係ある機関への相談を助言

Q4
人の心のケアの仕事をした。どこで調べたり、聞いたりしたらよいか?

A4: 相談員による助言

- 人の心のケアの仕事は、資格取得や試験合格を必要とするものが多いことを説明
- インターネット上のホームページを紹介するとともに福祉事務所や社会福祉協議会への問い合わせを助言

Q5
1年前にアクセサリーの教室・展示販売の店を開業したが、来店者が減少している。来店者を増やす方法として、紅茶やケーキの提供をしたいと考えているがどうだろうか?

A5: アドバイザーによる助言

展示販売だけでは来店しにくい。お茶等の提供があれば、展示を見た後休めるし、教室に通う人にも利用してもらえてよいと思う。
 スペースは現在のままでよさそう。天気の良い日は庭の利用もよい。
 食品の提供に当たっては、保健所に相談をすること。